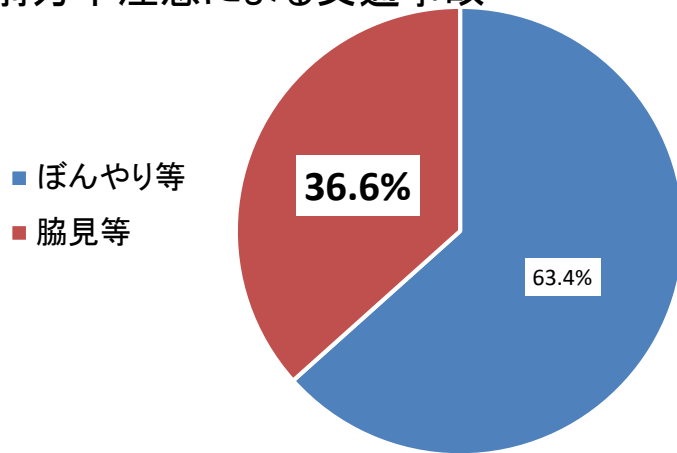


前方不注意による交通事故（死亡・重傷事故）の発生状況 （過去5年、H28～R2）

人的要因（第1当事者）		H28	H29	H30	H31/R1	R2	合計	構成率
死亡・重傷事故		547	495	464	452	345	2303	
内 前方不注意		203	194	175	157	142	871	100.0%
内在的（ぼんやり、考え事等の漫然運転）		123	123	108	108	90	552	63.4%
外在的		80	71	67	49	52	319	36.6%
風景等を脇見		15	15	14	11	16	71	8.2%
物を取ろうとした等		19	10	5	3	4	41	4.7%
他の車等を脇見		11	12	6	8	1	38	4.4%
同乗者等に脇見		6	5	8	1	5	25	2.9%
道等を探して脇見		2	8	4	3	2	19	2.2%
ナビ等を操作		3	1	4	4	4	16	1.8%
携帯等を操作		2	2	3	1	0	8	0.9%
ミラーを見ていた		2	1	1	0	0	4	0.5%
その他の脇見		20	17	22	18	20	97	11.1%

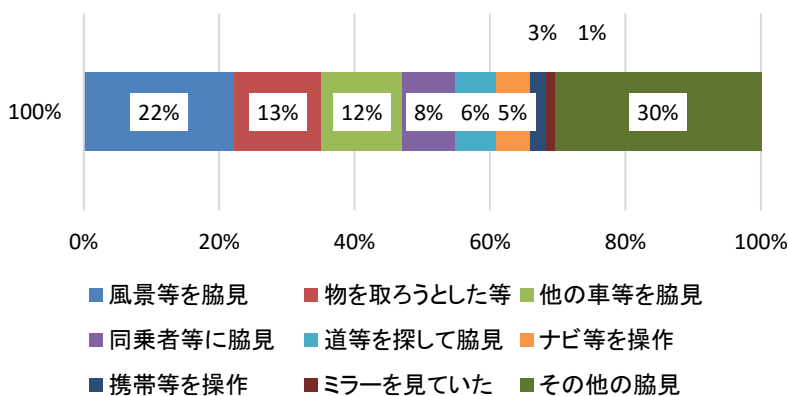
死亡・重傷事故	547	495	464	452	345	2303	
内 前方不注意	203	194	175	157	142	871	
	構成率	37.1%	39.2%	37.7%	34.7%	41.2%	37.8%

前方不注意による交通事故



●死亡・重傷事故に占める前方不注意による事故は、毎年約4割を占める。
●前方不注意による死亡・重傷事故（552件）のうち、脇見等による事故が「319件（36.6%）」と約4割を占める。

脇見等の原因



●風景や他の車両等、周辺環境を脇見の割合が高いが、「携帯電話等を操作（3%）」や「ナビ等を操作（5%）」などといった機器操作も一定の割合を占める。
→必要の無い運転中の機器操作も重大事故の一因となっている。